

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: NEWラックワイプ プラスチック用
SDS 整理番号	: SPS-ADCL-5322
供給者の会社名称	: 旭化成ケミカルズ株式会社
住所	: 〒101-8101 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング
担当部門	: 添加剤事業部 機能活性剤営業部
電話番号	: 03-3296-3363
FAX 番号	: 03-3296-3468
緊急連絡先	: 添加剤事業部 機能活性剤技術開発部
電話番号（平日・昼間）	: 044-271-2639
（休日・夜間）	: ① 090-1030-7568 ② 090-6927-5161
推奨用途及び使用上の制限	: クリーニングウェス

2. 危険有害性の要約

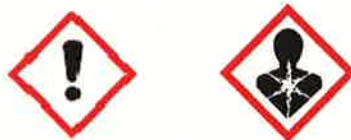
GHS 分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	: 区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	: 区分外
	眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: 区分 2
	生殖毒性	: 区分 1 A
	特定標的臓器毒性／全身毒性（反復ばく露）	: 区分 2（肝臓）
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性有害性）	: 区分 3

上記以外の項目は、分類できないまたは分類対象外である

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 強い眼刺激 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害のおそれ 水生生物に有害
注意書き	: 【安全対策】 使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 蒸気を吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。
必要に応じて保護眼鏡を着用すること。
必要なとき以外は環境への放出を避けること。

【応急処置】

「4. 応急処置」を参照。

【保管】

「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

【廃棄】

「13. 廃棄上の注意」を参照。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：クリーニングウェス

化学名	濃度	化学式	官報公示整理番号	CAS 番号
ポリ(オキシエチレン)＝アルキル エーテル(C12-C15)	0.9%	$\text{RO}(\text{CH}_2\text{CH}_2\text{O})_n\text{H}$ (R: $\text{C}_{12}\sim\text{C}_{15}$)	(7)-97	84133-50-6
エチルアルコール	1-5%	$\text{C}_2\text{H}_5\text{OH}$	(2)-202	64-17-5
イソプロピルアルコール	0.07-0.12%	$\text{C}_3\text{H}_7\text{OH}$	(2)-207	67-63-0
塩化ベンザルコニウム	0.2-0.3%	(混合物)	(3)-2694	8001-54-5
トリエタノールアミン	0.1-0.5%	$\text{N}(\text{C}_2\text{H}_4\text{OH})_3$	(2)-308	102-71-6
水溶性溶剤	非公開	非公開	非公開	非公開
添加剤（香料等）	非公開	非公開	非公開	非公開
オレフィン系不織布	30-40%	非公開	非公開	非公開

4. 応急措置

吸入した場合	: 含浸液を吸入した場合は、直ちに被災者を新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 皮膚に刺激が生じた場合、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 含浸液が目に入った場合は、直ちに数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。さらに眼の刺激が続く場合は、医師の診断及び手当を受ける。
飲み込んだ場合	: 含浸液を飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させる。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならないし吐かせようとしてもいけない。直ちに医師の措置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。
大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 火災時の特有の危険有害性 : 引火性はなし
- 特有の消火方法 : 関係者以外は安全な場所に退去させる。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 密閉された屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。ガスが発生した場合や多量に飛散した場合、人を安全に退避させる。
- 環境に対する注意事項 : 飛散した場合、大量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように掃き集める。
- 封じ込め及び浄化の方法 : 少量の場合は飛散したものを掻き集め、密閉できる空容器に回収する。
・機材
- 二次災害の防止策 : 火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取扱いは換気の良い場所で行う。
取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設けることが好ましい。
- 安全取扱い注意事項 : 手や顔などの人体に使用しない。荒れ性の人や長時間使用の場合は、ゴム手袋を着用する。傷、はれもの、湿疹等、異常のあるときは使用しない。
- 接触回避 : 情報なし
- 衛生対策 : 指定された場所で使用する。

保管

- 安全な保管条件 : 幼児の手の届かない場所で保管する。
温度の高い場所や直射日光の当たる所に長期間放置しない。
- 安全な容器包装材料 : 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : (製品データ) 設定されていない
(成分データ) 200 ppm (イソプロピルアルコール)
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 (2012 年版) : (製品データ) 設定されていない
(成分データ) 最大許容濃度 400 ppm 980 mg/m³

AsahiKASEI
旭化成ケミカルズ
安全データシート

製品名：NEWラックワイフ プラスチック用
MSDS 整理番号：SPS-ADCL-5322
作成：2005/11/09
改訂：2013/07/01

4/7

(イソプロピルアルコール)

ACGIH (2012 年版) : (製品データ) 設定されていない
(成分データ) TLV-TWA 200 ppm (イソプロピルアルコール)
TLV-STEL 1000 ppm (エチルアルコール)
400 ppm (イソプロピルアルコール)

設備対策 : 取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設けることが好ましい。

保護具

呼吸器の保護具 : 通常の取り扱いでは必要なし。

手の保護具 : 通常の取り扱いでは必要なし。荒れ性の人や長時間使用の場合は、ゴム手袋を着用する。

眼の保護具 : 通常の取り扱いでは必要なし。必要に応じて保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 通常の取り扱いでは必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态 : 固体

形状 : 乳白色液体含浸不織布

色 : 白色 (不織布)

臭い : 特有の芳香

pH : 情報なし

融点・凝固点 : 情報なし

沸点、初留点及び沸騰範囲 : 情報なし

引火点 : 情報なし

爆発範囲

下限 : 情報なし

上限 : 情報なし

蒸気圧 : 情報なし

蒸気密度 (空気 = 1) : 情報なし

比重 (又は相対密度) : 情報なし

溶解度

水 : 含浸液は可溶

その他の溶媒 : 情報なし

n-オクタノール／水分配係数 : 情報なし

分解温度 : 情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 情報なし

危険有害反応可能性 : なし

避けるべき条件 : 情報なし

AsahiKASEI
旭化成ケミカルズ
安全データシート

製品名：NEWラックアイ プラスチック用
MSDS 整理番号：SPS-ADCL-5322
作成：2005/11/09
改訂：2013/07/01

5/7

混触危険物質 : 情報なし
危険有害な分解生成物 : 情報なし

1 1. 有害性情報

急性毒性（経口） : (製品データ) 含浸液の毒性推定計算値より 区分外
ATEmix $\approx$ 4,000 mg/kg ($>2,000$ mg/kg)
ただし、急性毒性が不明の成分を1%未満含有する。
(成分データ1)区分外
ラット LD50 $\approx$ 7.0-11 g/kg

(経皮) : (製品データ) 成分のデータが不十分なため、混合物としては 分類できない
(吸入) : (製品データ) 成分のデータが不十分なため、混合物としては 分類できない
皮膚腐食性及び刺激性 : (製品データ) 成分のデータが不十分な成分を1%以上含むため分類できない。

眼に対する重篤な損傷又は刺激性 : (製品データ) 混合物の成分濃度による分類により 区分2
「区分1」(成分データ2、3、4参照)に分類される成分を計 3% 未満含む。
(成分データ2)区分1
ウサギ: 未希釈 4h (OECD405) 区分1
(成分データ3)区分1
Draize 法 1% (active)水溶液 非洗眼系: I.A.O.I.=36.0 強度の刺激(Kayらの区分)
(成分データ4)区分1
重度の刺激性、ウサギで重度の刺激性が記載され、ヒトでは発赤、痛み、重度の熱湯および腐食性を示す

呼吸器感作性 : (製品データ) 成分のデータが不十分なため、混合物としては 分類できない
皮膚感作性 : (製品データ) 成分のデータが不十分な成分を1%以上含むため分類できない。

生殖細胞変異原性 : (製品データ) 成分のデータが不十分なため、混合物としては 分類できない
発がん性 : (製品データ) 成分のデータが不十分なため、混合物としては 分類できない
生殖毒性 : (製品データ) 「区分1A」に分類される成分(成分データ1参照)を 0.3%以上含むため 区分1A
(成分データ1)区分1A
(吸入)ラット: TCL₀=20,000ppm/7h,妊娠,1~22日 発育異常
(経口)ラット: TCL₀=44g/kg,妊娠,7~17日 発育異常

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : (製品データ) 成分のデータが不十分な成分を1%以上含むため分類できない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : (製品データ) 成分濃度による分類により
(肝臓) 「区分1」(成分データ1参照)に分類される成分を 1wt%以上 10%未満含むため 区分2

(成分データ1)区分1(肝臓)

「ヒトでアルコールの長期大量摂取によりほとんど全ての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える標的器官は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と繊維化を経て肝硬変に至る」(DFGOT (1996))

吸引性呼吸器有害性 : (製品データ) 情報なし
全ての成分の試験データがないため、混合物としては 分類できない

備考 : (成分データ1)はエチルアルコールの参考値
(成分データ2)はイソプロピルアルコールの参考値
(成分データ3)は塩化ベンザルコニウム⁺の参考値
(成分データ4)はトリエタノールアミンの参考値

1 2. 環境影響情報

生態毒性

急性(短期間) : (製品データ) 混合物として毒性推定計算値より 区分3
水生有害性 : ただし、急性水生有害性が不明の成分を 1wt%未満含有する。
「区分1」(成分データ1、2参照)、「区分2」(成分データ3 参照)に分類される成分を含む。

(成分データ1)「区分1」

類似化合物1の参考データ:

ヤツメウナギ類 LC50=0.62mg/L(96hr)、

ミッドシュリンプ LC50=0.73mg/L(96hr)

類似化合物2の参考データ:

ヒメダカ LC50=3.3-8.8mg/L(48hr)

(成分データ2)「区分1」 ヒメダカ:LC₅₀ (96Hr)=1.6 mg/L

(成分データ3)「区分2」 ヒメダカ:LC₅₀ (48Hr)= 3.3-8.8 mg/L

長期間水生有害性 : (製品データ) 情報なし
十分な試験データがないため、混合物としては分類できない。

残留性・分解性 : (製品データ) 不織布は分解性なし

生体蓄積性 : (製品データ) 情報なし

土壌中の移動性 : (製品データ) 情報なし

オゾン層への有害性 : (製品データ) 成分のデータがないため 分類できない

備考 : (成分データ1)はポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(C12-C15)1の参考値
(成分データ2)は塩化ベンザルコニウム⁺の参考値
(成分データ3)はポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(C12-C15)2の参考値

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の

廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄するときは、内容物を処理した後処分する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 : 非該当

海洋汚染物質 : 非該当

MARPOL73/78 附属書 II および IBC コードによりばら積み輸送海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

海上規制情報 : 法的規制は特になし

航空規制情報 : 法的規制は特になし

陸上規制情報 : 法的規制は特になし

輸送の特定の安全対策及び条件 : 直射日光を避ける。高温体との接触を避ける。

緊急時応急措置指針番号 : 非該当

1 5. 適用法令

化管法（PRTTR法） : 第一種指定化学物質 政令番号 第407号

ポリ(オキシエチレン)アルキルエーテル(C=12-15) 0.9wt%

労働安全衛生法 : 第57条の2 第1項（通知対象物）

エチルアルコール 1-5%, プロピルアルコール 0.07-0.12%

1 6. その他の情報

本安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。

本製品を推奨用途以外に使用したい場合は、仕様が用途に合致しない場合もありますので事前に弊社に相談してください。

また、弊社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません

引用文献

1) GHS 分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ

http://www.safe.nite.go.jp/ghs/ghs_index.html